

数学科学習指導略案

令和 2 年 2 月 7 日 金 曜 日 2 校 時
高等部数学Dグループ 男子 4 人 女子 4 人 計 8 人
指導者 上 仮 屋 祐 介 (CT) 福 島 幸 太 郎 (ST)

1 題材 「グラフで表そう」

2 本時の学習(8/8)

(1) 全体目標

表やグラフの作成や採点をする活動を通して、作成の要点に沿って表やグラフを仕上げたり、採点結果を説明したりすることができる。

(2) 授業で目指す姿(資質・能力)

- ① 友達と協力して表やグラフの作成や採点をしようとする姿<主体性、人間関係>
- ② 作成の要点に基づいて表やグラフを作成したり、採点したりする姿<思考・判断・表現>
- ③ 採点結果について作成の要点を踏まえて説明する姿<思考・判断・表現、言語能力>

(3) 個人目標

生徒	個 人 目 標
H. Y (1年, 女)	作成の要点が示す箇所を, 作成中や採点する表やグラフから見付け, 作成や採点することができる。
H. S (1年, 男)	作成の要点と照らし合わせながら, 「〇〇が□□なので正しいです。」のように詳しく説明しながら表やグラフを作成したり, 採点したりすることができる。
S. T (2年, 男)	作成の要点で用いられている言葉を引用したり, 該当する表やグラフの部分を指さしたりして, 作成中に気を付けたことや採点結果について説明することができる。
J. W (2年, 女)	「横軸」, 「縦軸」, 「目盛り」などの言葉を手掛かりにして, 表やグラフの構成要素を確認しながら作成の要点に沿って作成したり, 採点したりすることができる。
T. E (2年, 女)	作成の要点に沿って, 表やグラフのどの部分をかいているか指さしたり, 採点箇所に色鉛筆で印を付けたりすることができる。
F. S (2年, 男)	作成の要点を読み上げ, 作成や採点の基準を一つ一つ確認しながら, 表やグラフを作成したり, 採点したりすることができる。
M. R (3年, 男)	作成の要点が示す箇所を指さしながら表やグラフを作成したり, 採点表の項目別に指定された色を手掛かりにして, 作成の要点と対応する部分を表やグラフから見付けたりすることができる。
W. M (3年, 女)	「この項目は, 表の〇〇の部分を指しています。」等, 作成の要点と対応する箇所を友達に伝えながら表やグラフを作成したり, 採点したりすることができる。

(4) 実際【①, ②, ③…は授業で目指す姿(資質・能力)の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5)	1 始めの挨拶をする。 2 前時までの学習を振り返る。 (1) 表やグラフを作成する要点(以下, 作成の要点)を全員で読む。 (2) グループ別に作成中の表やグラフを見返して, 作成状況を確認する。 3 本時の学習を確認する。 資料から正しい表やグラフを作ろう。	- 作成の要点をまとめる際に使用した教具を提示しながら振り返ることで, これまでの学習経過を想起できるようにする。 - これまでの学習でまとめた作成の要点を掲示するとともに, 「何に気を付けて作っていますか。」等の発問を行うことで, 作成の要点を確認しながら表やグラフを作成していることを想起できるようにする。	- 表作成の要点 - グラフ作成の要点 - 要点をまとめる際に使用した教具 - 作成中の表やグラフ
展開 (37)	4 グループ別に表やグラフを作成する。 <グループ編成>※5(2)も同様 【Aグループ】(CTが担当) H.Y, S.T, M.R, W.M 【Bグループ】(STが担当) H.S, J.W, T.E, F.S 5 他のグループが作った表やグラフを作成の要点に沿って採点し合う。 (1) 採点の仕方を確認する。 (2) 採点表の項目に沿って他のグループが作った表やグラフを採点する。 (3) 採点結果を発表し合い, 全員で確かめる。	①② 作成の要点をホワイトボードに掲示することで, グラフの作成に係る既習事項を確認しながら表やグラフを作成することができるようにする。 「本当に正しく作ることができましたか。」「正しく作ることができたことを, どのように確かめますか。」などの発問を行うことで, 作成した表やグラフを作成の要点に沿って確認する必要性に気付くことができるようにする。 - CTとSTがモデルとなり採点の仕方を例示することで, 採点に使用する教具の使い方や友達と協力して採点する取組方を確認することができるようにする。 ② 採点表の各項目を, 表やグラフを作成する要点と対応させることで, 採点する活動を通して作成の要点を踏まえた表やグラフになっているか確認することができるようにする。 ①② 採点表の項目別に色を指定し, 各項目に対応した色鉛筆を使って採点することで, 表やグラフのどの部分が採点表の項目に該当しているか生徒同士で確認しながら活動することができるようにする。 ② 各グループが採点した結果をホワイトボードに掲示し, 発表し合うことで, 表やグラフが作成の要点(採点表の項目)を踏まえて作成されているか全員で再確認することができるようにする。 ②③ 「グラフ(表)の○○の部分が, 採点表の□□の項目に当てはまります。」等の発表の仕方を事前に示すことで, 表やグラフの作成の仕方について作成の要点を踏まえて説明することができるようにする。	- 表作成の要点 - グラフ作成の要点 - 作成中の表やグラフ - 採点表(掲示用) - 表やグラフの例(掲示用) - フェルトペン - 色鉛筆 - 付箋紙 - 作成した表やグラフ - 採点表 - 色鉛筆 - 付箋紙 - 発表の仕方の例
終末 (8)	6 本時及び本題材で学習したことを確認する。 (1) 作成したグラフを基にデータの特徴や傾向について気付いたことを発表する。 (2) 正しい表やグラフの作成の仕方を発表する。 7 終わりの挨拶をする。	- グラフの基になる資料と, 作成したグラフを比較することで, 資料をグラフ化することでデータの特徴や傾向が分かりやすくなることを確認できるようにする。 - 本時で作成及び採点した表やグラフと, 採点の要点を全員で比較することで, 要点を踏まえることで正しい表やグラフを作成できることを再確認できるようにする。	- グラフの基になる資料 - 本時で採点した表やグラフ - 表作成の要点 - グラフ作成の要点

学習指導案について

生活単元学習指導略案

令和2年2月7日 金曜日 2校時

小学

指導

全体目標

各教科等の内容から設定

1 単元(題材) 「〇〇たんけんをしよう」

2 本時の学習(16/23)

(1) 全体目標

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等の外観や施設内の写真や動画を手に
振かりに名称やおおよその役割を答えたり、それらを地図や表に表したりすることができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 調べたことを、写真やイラスト、文字を用いて表現する姿 <思考・判断・表現・主体性>
② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力>

(3) 個人目標

児童	授業で目指す姿
I. Ri (4年, 男)	施設の外観や施設内 を撮影することができる。
I. Ru (4年, 女)	施設の外観の写真を を手振かりに施設の役割 (何を する場所か) を主語、述語の2語文で説明することができる。
T. H (4年, 男)	施設の外観の写真を 見て名称を言葉で伝え、施設内 の写真を写真や施設を利用して いる動画「泳ぐ。」などの言葉 で伝えることができる。
O. M (3年, 男)	名称を聞いて施設の外観の 写真を手振かりに施設の役割 を選び、施設内の写真や施設 を利用している動画を手に 振かりに、役割を表すイラスト を選んだり、動作を交えて伝え たりすることができる。
H. K (3年, 男)	施設の外観の写真を 見て名称を言葉で伝え、施設内 の写真を写真や施設を利用して いる動画「泳ぐ。」などの言葉 で伝えることができる。

授業で目指す姿

資質・能力を発揮している具体的な姿

(4) 実際【①、②は授業で目指す姿(資質・能力)の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5)	※ ロゴ・役割クイズ をする。 1 始まりの挨拶を する。 2 学習の流れを確 認する。 3 めあての確認 する。 ハートピアはど んなところ?	・ 商業施設や公共施設のロゴや役割を表し たイラストをフラッシュカードで提示す ること、これまで学習を振り返りなが ら授業への意欲を高めることができるよ うにする。 ・ 文字とイラストを併せて表示すること で、示された内容が分かるようにし、学習 の意欲を高めるようにする。	・ フラッシュカード ・ ホワイトボード
展開 (30)	4 ハートピアの しよについて調べ たことを地図やメ モにまとめる。 (1) 外観の写真を に貼る。 (2) 施設内の写真や 動画を撮影し、役割 を表す言葉を選 たり、イラストを選 択したりする。 5 ワークシ 【グループ1】CT T. H, O. M 【グループ2】ST I. Ri, I. Ru, H. K	① 施設の名前、外観や施設内の写真、役割 を表すイラスト、役割を表す言葉を、それ ぞれの児童の実態や目標に合わせてワー クシートにまとめるようにする。 ② 施設の名前や役割を言葉で伝えた 後に文字として表記する。I. Ru, H. K は言 葉で伝えた後に教師の記した見本を手振 かりにして描写やざり書きで表記する。 T. H は書くことよりも文字を用いて単語を 構成することにより重点を置き、文字カードを 貼り付けることで表記する。O. M は、文字 の表す内容と対応付けたイラストを用い て、教師の言葉の復讐や動作で表現でき る。	・ ワークシート ・ ワークシート
終末 (10)	6 まとめたことを 発表する。 7 終わりの挨拶を する。	② 各自で作成したワークシートを手振か りに、教師の簡単な質問に答えることで、 まとめたことを友達や教師に伝えること ができるようにする。	・ ワークシート

資質・能力の評価場面

授業で目指す姿の数字と対応

させて、留意点を記入